

2025年6月2日

銚子信用金庫 DX戦略



ごあいさつ

当金庫の主要なお取引先である中小企業においては、原材料価格の高止まりや賃金水準の上昇等に加え、人口減少・少子高齢化を背景とした慢性的な人手不足、さらにはデジタル化の進展や気候変動問題への対応など、経営課題がますます多様化・複雑化している状況にあります。

このような状況に対応するため、当金庫はDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、多様化・複雑化するお客さまのニーズや課題に対し、表面的な支援にとどまらず、より深度ある支援を実践できるよう、態勢整備に努めてまいります。あわせて当金庫職員が、「しあわせに、いきいきと働く」ことで、より価値の高いサービスの提供を行うことができる職場環境の整備にも努めてまいります。

当金庫では営業活動上の指針として「しんきんのココロエ」を施行し、その一部に、「自分のことのようにお客さまのことを知ろう」、「お客さまにとって何が最良なのかを深く考えて行動しよう」を掲げ営業活動を行っております。

このDX戦略を、中期経営計画「Shinking 2030 セカンド」で掲げる重点事項を達成するための重要な施策の一つと捉え、積極的に取り組むことにより、「しんきんのココロエ」に基づいた営業活動の質をさらに高め、最も身近な「ファーストアドバイザー」を目指し、地域金融機関である信用金庫としての役割を果たしてまいります。

2025年(令和7年)6月

理事長 **森山 博志**



The Choshi Shinkin Bank

01

銚子信用金庫のDX戦略の制定について



Shinking 2030 セカンド

目指す姿



目指す姿

課題解決サポート体制を“ちょうしんきんならではの”の課題解決プラットフォームへと進化させ、最も身近な「ファーストアドバイザー」として、お客さま・地域の課題解決に貢献し、圧倒的な信頼を獲得する。

どのような状況にあっても前向きにトライアル&ラーンを繰り返し、智慧を集め共有しながら、絶えず柔軟に変化し続ける創造性の高い組織になる。

「人財を育む力」を“ちょうしんきんの強み”にまで高め、職員一人ひとりが自ら学び、成長し、お互いに助け合いながら、地域のみなさまと共に、豊かで活力あふれる地域社会を創る。

重点事項

①お客さまとの接点を増やす

②お客さまにより良い提案を行えるようにする

③全職員が幸せにいきいきと働けるようにする



3つの重点項目

①課題解決サポートに注力するため金庫全体で業務の最適化を行いお客さまとの接点を増やします

②職員の専門性を高め多様化するお客さまのニーズにきめ細かく対応できるようにします

③職員の成長と幸せの実現のためやりがいを持って気持ちよく働ける風通しの良い組織にします

しんきんのココロエ

経営理念

- ① 地域の最良のパートナーとして、常に地域とともに歩む
- ② 柔軟で創造性の高い組織力を発揮し、地域金融機関としての使命を全うする
- ③ 優れた人材を育成し、豊かで活力あふれる未来を創造する

『Shinking2030セカンドが目指す姿』
《最も身近な「ファーストアドバイザー」として選ばれる金融機関となる》

【現状の問題・課題】

「外部環境の変化」・多様化するお客様ニーズ ・急速なデジタル化
「地域の課題」・人口減少、少子高齢化 ・事業所の減少
「当金庫の課題」・人手不足+新たな業務 ・残存する多数のアナログ業務

【銚子信用金庫のDXビジョン】

データとデジタル技術の積極的な利活用により、CX（お客さま体験価値）
EX（職員体験価値）を高め、活力あふれる地域・組織を創造する。

“三つの柱”

①お客さま視点のDX

②業務プロセスの変革

③人材育成と体制整備



3つの柱に基づくアクションプラン



①お客さま視点のDX

アクションプラン

(ア) 非対面チャネルの拡充

(イ) 営業店窓口の利便性向上

(ウ) データドリブンな提案活動の展開

(エ) 事業者のデジタル化支援の強化

(オ) SNS等での情報発信の強化

具体的施策

- WEB完結型ローンの拡充
- WEB広告の利活用
- バンキングアプリの導入検討

- 窓口支援システムの導入
- 届出書類のデジタル化

- BIツールの導入・活用、AIの活用検討

- HP作成サポート、補助金活用サポート、専門家派遣

- Instagram、Facebook、しんきんDirectによる情報発信

②業務プロセスの変革

アクションプラン

(ア)ペーパーレス化の促進

(イ)融資関連業務のデジタル化

(ウ)業務の本部集約化と自動化

(エ)点在するデータの統合と活用

(オ)社内知の蓄積と活用

具体的施策

- ・WEBデータベースの導入・活用
- ・庫内ネットワークの無線化とデバイスの整備

- ・融資稟議システムの導入
- ・融資関連システムの一元化

- ・業務フローの見直し、RPAの活用

- ・BIツールの導入・活用

- ・チャットボットまたは生成AIの導入・活用

③人材育成と体制整備

アクションプラン

(ア)全職員のデジタルリテラシー向上

(イ)デジタル化支援人材の育成

(ウ)専門スキル保有人材の育成

(エ)リソースの全体最適化

(オ)専門部署の創設

具体的施策

・全職員向けの勉強会の実施 ・Selsの活用

・金融リテラシーとデジタルリテラシーを併せ持つ人材の育成

・システム運用・管理・構築、プロジェクト管理を担う人材の更なるスキルアップおよび育成

・システム投資にかかる組織横断的な検討、システム投資計画の策定

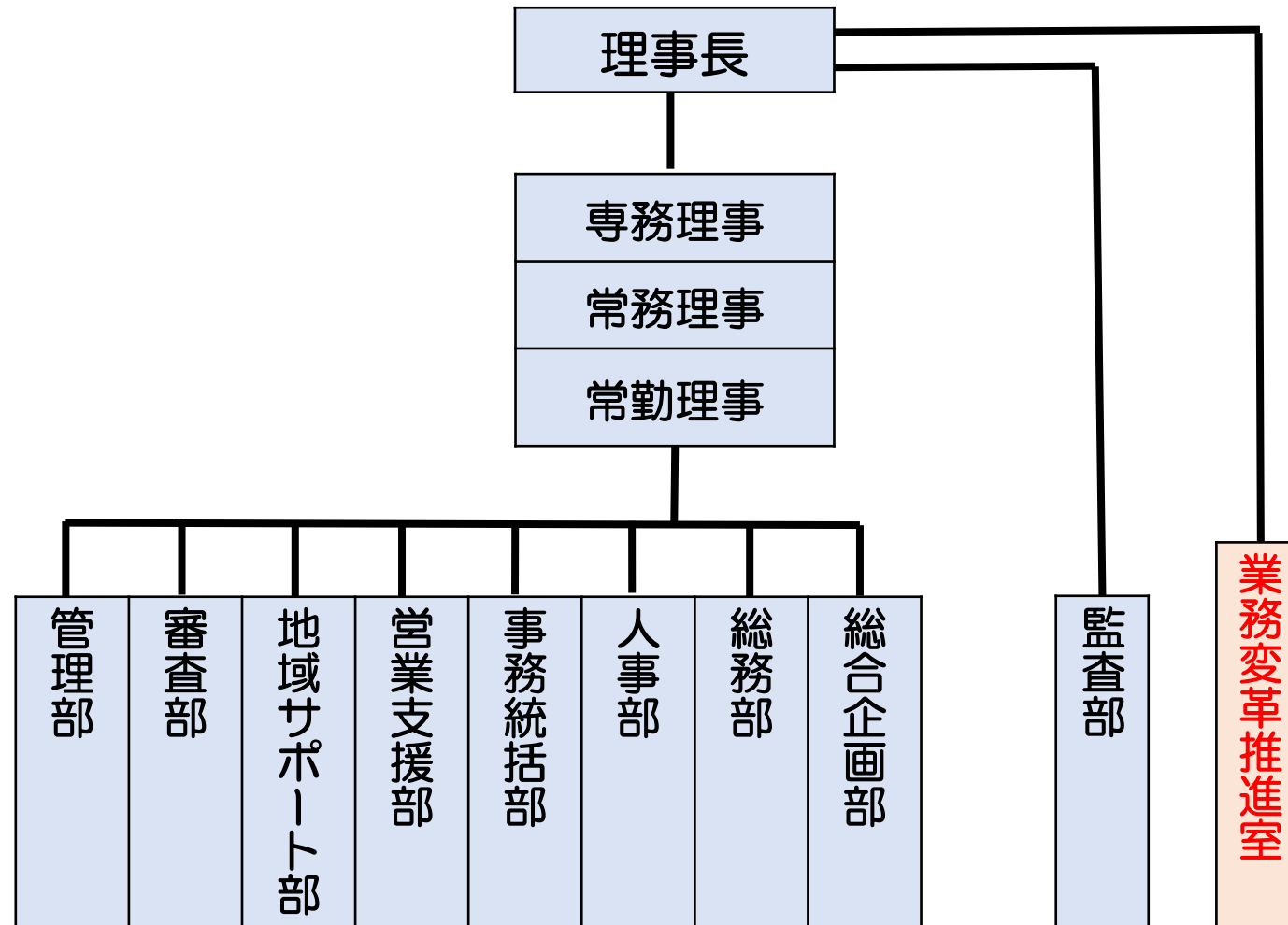
・業務変革推進室の設置

03

戦略推進体制



令和7年4月より、DXおよびBPR（抜本的な業務の見直し）等の業務変革を目的とした「業務変革推進室」を理事長直轄の部署として設置しました。



04

DX評価指標



総合的な管理指標としてDX推進指標とDX戦略の観点からKPIを設定

①お客さま視点のDX	(ア) 非対面チャネルでの情報発信回数
	(イ) 窓口支援システムの使用率
	(ウ) お取引先企業へのデジタル支援件数
②業務プロセスの変革	(ア) デジタル化した業務数
	(イ) 融資関連業務の削減時間数
③人材育成と体制整備	(ア) 推奨資格(ITパスポート他) 取得者数
④総合指標	(ア) DX推進指標（平均値）※IPAの指標



ちゅうしんきん
<https://www.choshi-shinkin.co.jp/>